さくら新聞

～笑顔ｄｅ共育て～

平成30年11月1日発行
石神井町さくら保育園
〒177-0041
練馬区石神井町7－25－45
TEL　3997-0070
FAX　3997-0972

主題
・秋の自然にふれよう
今月の保育のねらい
・秋の自然の中で木の実や木の葉であそぶ
・季節の変化や自然の美しさを知る

空を見上げて深呼吸！さあ！秋を楽しん

神無月は傘の出番が多く、きれいな秋の青空を感じた日が少なかったような気がいたします。最近になって朝夕の気温が下がり、ようやく里にも秋が訪れ、散歩先の公園で美しい紅葉に出合うこともありそうです。

また、園庭の柿は、甘く甘く実り、今年も豊作です。先日は早速『柿や』さんが開店して皆、大喜びで賞味しました。

さて、乳児クラスの子どもたちの戸外活動にも変化が見られます。前庭で遊ぶ様子を見ているとテラスで外気に触れている時の表情とは違うものがあります。土の匂いや、柳の葉っぱに触った感触、砂いじり、肌に感じる風、きれいに咲いている花との触れ合い等々、子どもを取り巻く自然環境の有り難さを感じます。

このように、子どもたちが日々生活する環境について、さらに考えて工夫をして保育をしていきたいと思います。

大きくなったね会のお知らせ

◆日時　12月7日（金）
9時20分～

◆3歳児クラスから順に、クラスごとに行います。

※詳細は後日プリントを配布いたします。

習慣と癖

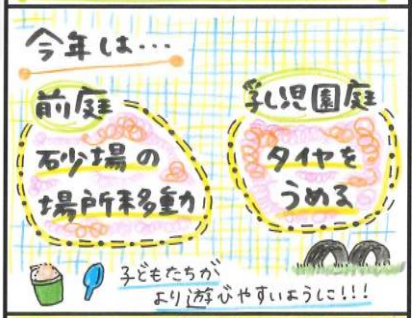
わたくしたちは「習慣」という、「早寝早起きの習慣」などと言い表すように、一般的には、適切で安定していて滞りなく進行する意で使用することが多いのではないでしょうか。

一方、「癖」の方は、消極的な意味で使っていませんか？指しゃぶり、夜尿症、成人の吃音、貧乏揺すりなども癖といわれますが、これらは適切な動作とはみられないことが多いような気がいたします。と、同時になかなか直らないものです。

そこで、ちょっと発想を転換して考えてみました。なかなか直りにくい癖ならば、小さい時から【よい癖】をたくさんつけてあげる方がいいのではないかと！

例えば、スプーンや箸の持ち方で考えてみました。

保育園での食事は一回ですが、家庭では二回の食事があります。食具の使い方を丁寧に教えて、見守ることができるのは家庭が最も適していると思います。保育園の食事の時も個別で見ていますが、食具の持ち方を直すことはなかなか難しいことです。【よい癖】がつくとそれが習慣になって、一生涯役に立ちます。家庭と保育園で協力しあいましょう！



11月　行事予定

日	曜日	内　容
2	金	離乳食講習会（地域向け）
6	火	身体計測（乳児）
8	木	身体計測（幼児）
10	土	さくらエイド
13	火	おはなし会
15	木	0歳児健診
16	金	さくらアートくらぶ（3歳） 保幼小連携（5歳児）
19	月	さくらアートくらぶ（4歳）
20	火	避難訓練
28	水	大きくなったね会総練習
29	木	歯科健診（全園児）

1･8･15日⇒絵本の貸し出し日
7･14･21日⇒さくらんぼくらぶ
⑦･14･㉑日⇒『ふれあいランチ』提供日
〇印は家庭的保育者受託児対象
27・28日⇒大泉中学校職場体験
※16日⇒写真撮影日

★お風呂がうれしい時季。森の動物たちも同じようです。お風呂上りに、西村敏雄さんの『もりのおふろ』はいかがでしょう!!